

ユーミンの力

小嶋 栄治 陸自78

JR大阪環状線の大阪城公園駅を降りると、両側に洒落た店舗が立ち並ぶ歩道は、大阪城ホールに向かう多くの人で身動きが取れず、流されるままに歩いていきました。ホール入り口付近は、入場しようとする人々の大きな渦ができていました。大変な混雑状態ですが、人々はみんな一様に笑顔で嬉々として輝き、人生にこれ以上の幸せはないというように満ち足りた顔をしていました。

これほどの人数の人々が集まりながら、みんながみんな同じような喜びに満ち溢れ、にこやかに楽しそうな表情を醸し出しているのは不思議でなりませんでした。

それもそのはず、これからユーミン(松任谷由美)の50周年記念コンサートが始まるうとしています。大阪城ホールはアリーナ席を含め一席の空席もなく満席の状態でありました。コンサートが始まるとステージ上を所狭しと駆け回り、歌いながら

軽やかにステップを踏む生き生きとした躍動的な姿に、来年古希を迎えるとは思えないほど若々しいユーミンに1万6千人の観客は大いに魅了されました。この異様な熱気と興奮のるつぼに身を置き、心の琴線に触れる歌声に包まれると、私の身も心も50年前に初めてユーミンのコンサートを見た若き日に逆戻りするような夢見る思いになりました。

さて、この人達の明るい喜びに満ちた表情を見てみると、これとは全く正反対の表情をしている人々を思い出し、一瞬にして夢見る心地が打ち砕かれました。ウクライナやガザ地区で戦いの真只中で生きる人々の涙と憂いに満ちた悲しみに沈む虚ろな顔が浮かんできました。同じ人間としてこの世に生を受け幸せに暮らす権利を有する人々の表情がその国の状況によってこうも違うものなのでしょうか。

私の心には、ユーミンファンの嬉々とした表情と、戦乱に疲れ悲しみに打ちひしがれ、悲嘆にくれる多くの住民達の表情が交互に交差して押し寄せ、深い悲しみと激しい憤りで一杯になりました。争いの原因はそれぞれ歴史的で複

雑なものがあると思われ、良く理解できないところがありますが、一つはつきり言えることは、自分の国は自分でしっかりと守るということが最も重要であると思います。

即ち、他国から侵略されない確固とした十分なる自衛力を保持することが絶対必要であり不可欠であります。

強大な軍事力を有する専制国家を目の前にし、自由主義陣営の最前線に位置する日本は、現在、戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面しています。このため、一歩歴史の歯車が狂えば、今日のウクライナやガザの悲劇は明日の日本の悲劇となりましょう。

防衛・国家安全保障分野では、世界第1位と言われる米国のシンクタンクCSIS(戦略国際問題研究所)によりますと、台湾有事は2026年に勃発すると予測され、日米の具体的な損害見積も算出されています。この来るべき有事に対処するため、新たに南西諸島へ対艦・対空ミサイル等を装備した部隊の配置、対着上陸阻止に適した部隊の新設・改編等、新しい戦い方に着目した防衛力の抜本的強化が着実に実施されて

います。

国家防衛戦略に基づくこれらの施策を目の当たりにした多くの国民は、自衛隊の断固として国を守り抜くという強固な意志とみなざる気迫に絶大なる信頼を寄せ、たとえ武力攻撃事態等や緊急対処事態に陥ったとしても冷静に行動し、安心して迫りくる脅威に対処できるのではないのでしょうか。

また、自分の子や孫達がユーミンのコンサートに集う人々のように、満面笑顔で嬉々として幸せ一杯で穏やかな日々の暮らしが未来永劫続き、平和の時を刻んでいけることを確信したことでしょう。

日本は、崇高な愛国心に培われた誠実で勤勉な先人たちが営々として築き上げた、世界に類を見ない1千6百年の悠久の素晴らしい歴史を有し、豊かな文化と伝統を継承する美しい瑞穂の国であります。この日本の恒久の平和と独立を次の世代につなぐことは、今を生きる我々の崇高な使命であり、絶対に完遂しなければならぬ大きな責務であると確信しています。